

和寒町の空間放射線量の測定し公表します

福島第一原子力発電所の事故により、放射能への関心が高まるなか、本町でも11月より簡易測定機器を用いて身近な大気中の放射線量（空間放射線量）の測定を開始いたしました。

測定結果は、毎月広報誌面にて報告いたします。また、随時『和寒町ホームページ』にて掲載しますので、あわせてご覧ください。

測定の概要

・測定場所	和寒町保健福祉センター前 地上高1m
・測定日時	毎週水曜日 午前9時
・測定機器	環境放射線モニタ PA-1000 Radi (ラディ)
・測定線種	ガンマ線 (γ線)
・測定値の単位	マイクロシーベルトアワー (μSV/h) ～1時間当たり

《測定結果》

測定日時	測定値 (μSV/h) ※3回測定の平均値	年間換算値 (mSV/年)	天 候
11月9日(水)	0.056	0.294	晴れ
11月16日(水)	0.060	0.314	くもり

※ 国際放射線防護委員会 (ICRP) 基準は平常時年間1mSV以下です。

放射線の種類と単位

放射線にはアルファ (α) 線、ベータ (β) 線、ガンマ (γ) 線などがあり、それぞれ物質を突き抜ける能力 (透過力) が違います。一般的には、ガンマ線の透過力が最も強く、続いてベータ線、アルファ線となっています。和寒町では、透過力の強いガンマ線について測定します。

シーベルト (Sv) は、人が放射線を受けたときの影響の程度を表す単位です。

※ミリ (m) →1,000分の1

マイクロ (μ) →100万分の1

1,000 μSV = 1 mSV

放射線量について

私たちは、日常生活のなかで、「自然放射線」を受けるとともに、医療放射線を中心とした「人工放射線」を受けて暮らしています。(右表参考) 「自然放射線」も「人工放射線」も、身体に受ける放射線の量 (シーベルト) が同じであれば、影響も同じです。

本町で今回測定しました結果については、上記のとおり年間換算値で0.294mSV、0.314mSVとなっており、自然に大気から受ける平均放射線量の範囲内であり、健康に影響を与える状況ではないと言えます。



導入した放射線測定器

■お問い合わせは役場保健福祉課
保健係 (TEL32-2000) まで

